

研究の全体構想

児童の実態
教師の願い
保護者・地域の願い
社会の要請

学校教育目標

すすんでまなぶ子
たすけあう子
げんきな子

学習指導要領

さいたま市学校教育ビジョン
「ゆめをもち、未来を切り拓くさいたま市の子ども」
さいたま市の学校教育
「学校教育の指針・指導の努力点」

児童の実態

- ・日常の授業実践と評価
- ・算数アンケート
- ・市学習状況調査
- ・全国学力・学習状況調査

目指す児童像

- 「わかった・できた」を実感できる子
- 学ぶ意欲をもって取り組む子
- 自分の考えを持ち伝え合える子

たけの子

低学年

すすんで学習に取り組み、問題を解決しようとする子
具体物やブロック、絵などを用いて考えを友達に伝えることができる子

中学年

習ったことを使って言葉、式、図などを用いて考えをみんなに伝える子

高学年

既習事項を活用し、筋道を立てて考え、言葉、式などを用いて発表し合い互いの考えを比べ合うことができる子

研究主題

学ぶ喜びを味わい、生き生きと学習に取り組む児童の育成
— 「わかった・できた」喜びを味わわせる学習指導の工夫改善（算数） —

基礎・基本の定着を図る授業

学ぶ喜びを味わわせる授業

学習環境の整備

研究の仮説と視点

仮説 1

問題提示や導入の仕方を工夫すれば児童は主体的に取り組むだろう。

仮説 2

自立解決を支えるための指導を工夫すれば「わかった・できた」達成感を味わえるだろう。

仮説 3

練り上げ活動を、多様な考えを知り、認め合うことで学ぶ楽しさを味わえるだろう。

視点 1

主体的に取り組むために問題提示や導入の仕方を工夫する。

視点 2

自分なりの考えで「わかった・できた」喜びを味わわせるために自力解決を支えるための指導の工夫をする。

視点 3

児童一人ひとりが多様な考え方を知り認め合うために練り上げ活動の構想を工夫する。